



# 議会だより 第26号

平成24年2月発行

新年、明けまして

おめでとうございます。

本年も皆様方におかれましては、幸多き年となり  
ますよう、お祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

よ  
や  
こ



ご成人おめでとうございます!  
平成24年1月8日  
成人式(サングレートみやこ)にて

## もくじ

- \*決算審査 ..... 2 ~ 3P
- \*議案議決結果 ..... 4P
- \*町政を問う・一般質問 ..... 5 ~ 13P
- \*委員会報告 ..... 14 ~ 15P
- \*がんばっちょる ..... 16P

8101万円

# 町の借金はこれだけ

108億2054万9949円

**地方債残高平成22年度末現在高**

町の借金といえる地方債の平成21年度末現在高は108億7955万2371円であり同額に近い。その一方基金は21年度は約69億円であり、増額傾向である。

# 町の貯金はこれだけ

## 基金總額

81億208万4285円

約12億円の増

## 主なもの 22年度末

財政調整基金	13億2682万5799
減債基金	3億327万394
公共施設整備基金	20億2693万1465
ふるさと創生基金	2億7776万4483
伊良原ダム周辺地域振興基金	15億1023万4061
伊良原ダム周辺地域公共施設整備基金	1億3006万2262
合併地域振興基金	8億7763万2840
農林業振興基金	1億7704万6595
国民健康保険特別会計基金	1996万7720
介護給付費準備基金	2億2985万7851
土地開発基金	3億526万3354

# 財政の状況

区分	標準財政規模	財政力指数※1	経常収支比率※2	経常一般財源比率	実質公債費比率※3
平成22年度	7,147,077千円	0.41%	79.4%	101.1%	8.7%
平成21年度	6,793,075千円	0.42%	88.1%	100.4%	10.6%

\*1 財政力指數

町の財政力を示す指数で1に近くなるほど財政に余裕がある。

※2 経常収支比率

経常的に収入がある財源に対する経常経費(人件費、物件費、扶助費、補助費等)の割合。75%~80%未満が妥当である。

### ※3 実質公債費比率

公債費(元利償還金)の一般財源に占める割合。25%を超えると危険領域といえる。

**一般会計決算歳入総額  
138億9975万840円**

**一般会計決算歳出総額  
128億6519万9182円**

## 決算の認定

9月議会で付託された、平成22年度一般会計・特別会計、11件の決算は決算特別委員会で審査を行いました。12月本会議において、すべて原案の通り認定しました。

特別会計と水道事業会計を含めた決算総額は歳入202億9519万9722円、歳出192億8101万2122円であり、差引額は10億1418万7600円です。

一般会計は翌年度に繰り越すべき財源約1億円、住宅新築資金等事業の貸付事業の累積赤字が約1億6754万円あり、実質黒字は約7億6632万円です。

平成22年度

# 決算歳出総額

# 192億

## 平成22年度不納欠損額

(円)

個人町民税	1120件	4,245,628
法人町民税	1件	26,600
固定資産税	239件	2,423,400
軽自動車税	132件	575,200
保育料	698件	11,239,480
国民健康保険税(一般)	626件	5,571,928
国民健康保険税(介護分)	300件	454,322
後期高齢者医療保険	75件	299,055
介護保険料	208件	1,026,975
計		25,862,588



平成22年度の不納欠損額は  
2586万2588円

滞納繰越分のうち収入額は1億  
159万円余りで回収率は滞納額  
の22.6%。徴収率は87%

## 税の徴収状況をお知らせします

税等徴収状況	現年度 円	収納率 %	滞納繰越分 円	収納率 %
町民税個人	7億2066万9614	97.5	2208万3148	31.0
法人	1億2562万8100	99.6	15万3300	23.5
固定資産税	8億9105万1785	97.2	3203万7412	17.0
軽自動車税	5244万2400	94.2	297万2973	33.7
国民健康保険税	4億991万5177	91.5	3901万1825	23.2
介護保険料	2億9899万9438	99.2	306万6806	39.0
後期高齢者医療保険料	1億9320万6810	99.4	226万9210	63.5

## 子どもの医療助成費

乳幼児分 3574万円 922人(受給者数)

児童分 2185万円 1,366人(受給者数)

子育て支援事業として中学校卒業までに対象をひろげた。

23年10月からは高校終了まで対象をひろげた。

## 安全安心な学校づくり事業

小学校 4億4858万円 中学校 1億3181万円



## 公営住宅建設

4億4678万円

三島団地建替え建設・三島団地集会所及び今里  
団地建替え計画予備調査業務



▶三島団地

## 給食センター建設事業

6178万円

造成工事 3549万円

実施設計・測量業務委託料 1420万円

給食センター建設に向けて測量・造成工事が完了した。

耐震補強工事照明機器、防水工事などの施設改修工事。

## 平成23年 第5回 定例会(12月議会) 議案議決結果

専決処分の承認を求めるについて (みやこ町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について)	原案承認(賛成12 反対2)
人権擁護委員の推薦につき意見を求められることについて 中川かすみ氏、齊藤廣史氏、浦田農二男氏、岸上光男氏	原案適任(賛成14 反対0)
工場設置奨励条例の制定について(工場誘致のため固定資産税を減免する)	原案可決(賛成14 反対0)
企業誘致奨励条例の制定について(工場誘致のため固定資産税を減免する)	原案可決(賛成14 反対0)
課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成12 反対2)
大型共同作業場条例を廃止する条例の制定について(豊津縫製工場の廃止に伴うもの)	原案可決(賛成14 反対0)
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成14 反対0)
保育所条例の一部を改正する条例の制定について(黒田保育所の廃止)	原案可決(賛成11 反対3)
財産の無償譲渡について(社会福祉法人和泉会に黒田保育所を無償譲渡する。)	原案可決(賛成11 反対3)
工事請負契約の締結について(みやこ町学校給食センター建設工事)	原案可決(賛成14 反対0)
指定金融機関の指定について	原案可決(賛成13 反対1)
平成23年度みやこ町一般会計補正予算(第3号)	原案可決(賛成13 反対1)
平成23年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成14 反対0)
平成23年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成14 反対0)
平成23年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(賛成14 反対0)
子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの定期接種を求める意見書(案) について	原案可決(賛成14 反対0)
健全な国民健康保険制度の構築を求める意見書(案)について	原案可決(賛成14 反対0)
豊津地区に放課後児童クラブ(学童)の設置を求める請願書	継続審査
平成22年度一般会計他11特別会計の歳入歳出決算の認定	原案認定

(欠席1)

### 意見書を国に提出!!

#### 子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの定期接種化を求める意見書

予防接種法で定める定期接種の対象ではなく、接種費用は原則全額自己負担となっています。このため、予防接種を受けたくても経済的な理由で断念する人もいました。

その状況下、公費助成を実施する自治体が徐々に広がり、今年度補正予算では、公費助成を行う自治体に対して国が助成費用の半額を補助する事業が創設されました。厚生労働省が調査した昨年12月下旬の時点で、全ての市区町村が3ワクチンのいずれかの接種費用を助成するとの回答は大きな前進であると評価できます。

少子高齢化を鑑みても、ワクチン接種の対象となる女性や子どもたちに、もれなく接種をうけてもらえるためには、広く周知活動等に力を注ぐ必要があり、実施主体である自治体だけに任せののではなく、政府としても取り組むよう強く要望します。

**平成23年度 みやこ町一般会計補正予算(第3号)  
約8億2206万円の増額で  
約126億5327万円**

#### 歳入

**約5億1936万円の増額**  
地方交付税総額約46億4128万円になる。  
**約1億円**  
市町村振興宝くじ配分金

#### 歳出

**約1億2255万円**  
民間保育所施設整備補助金  
民間移譲後の黒田保育所の建替に対する補助金  
鉄骨造・800m<sup>2</sup>定員90名及び放課後児童クラブ整備費  
(定員40名)

**約3億1058万円**  
剰余金を町営住宅整備基金に積み立てる  
**約3665万円**  
町営住宅の売払収入を公営住宅譲渡基金に積み立てる

# 町政を聞く!! 一般質問



田 中 勝 員  
議

**A Q** 学校教育の充実を作成し、危機管理マニュアルを作成し、体制づくりを指導している

## 少年非行防止対策

**Q** 近年、少年の非行化は年々増加

傾向にあり、校内暴力、喫煙、自転車乗り捨て、無免許運転によるバイクでの暴走行為等が大変心配される。次代を背負う青少年を健全に育成することは家庭、学校、社会の3者の責任であると考えるが、防止対策をどの様に取り組まれているのか。

**A** (教育長) 家庭での防止対策と

して家族での対話、皆で食事、門限を設ける等の基本的な習慣を身につけるなど保護者に理解を求めている。

**Q** 学校の教師に非行防止策をどのように指導しているか。

**A** (教育長) 学校に対し危機管理マニュアルを作成し全職員が対応できる体制づくりを指導している。子どもを認める、励ます、ほめるなど、子供たちの信頼関係を築くように、

学校に働きかけている。

**Q** 社会においての指導について

**A** (教育長) 学校以外では、挨拶運動、青少年育成町民会議で、月一回第三水曜日に夜間パトロールを実施し、見守り隊による登下校の安全確認、指導を行っている。

**Q** 放課後児童健全育成事業について

**Q** 寺子屋・児童クラブの利用状況について

**A** 寺子屋では六年生まで、児童クラブは三年生までの児童を対象にしている。利用児童数は徐々に増加傾向にある。

**Q** 生までの整備計画は。

**A** 国の補助要綱を有効活用して対象学年を保護者のニーズに対応していく。

## 保育所民営化への対応

**Q** 「幼稚園でも夕方まで預かってほしい、保育所でも小学校入学前の

教育を充実してほしい」という要望に対応できる「幼保一元化」を求め

**A** 幼稚園と保育所の境界をなくし、両者を統合した施設が、子ども園です。今後、認定こども園が就学

までの実施の方向で検討する。

**Q** 保育所民営化メリットを。子供の予防接種医療費の助成を求める。

**A** 子供たちのインフルエンザの予防接種の助成に取り組んで行く。

**Q** 児童クラブの対象学年を六年

**A** 黒田保育所建設予定地

求め。

**A** 四季を通じ各種イベント等企画し、集客を図つていかねばと考える。

地域を活性化させるためには、交流入口の増加を図ることが必要です。

お客様のニーズにあつた対応を考えたい。

## 公共施設の有効活用

**Q** みやこ町には宿泊施設がないと指摘されている。犀川の「いこいの里」の芸能館は立派な日本庭園つきの日本間がありますが、ほとんど使

用されていませんので宿泊施設に有効活用できないか。

**A** 行財政改革集中プランにより、三施設の統廃合を含めた見直し中、宿泊施設等に替えられないか前向きに検討する。



黒田保育所建設予定地

**Q** 帆柱キャンプ場の整備

**A** お客様のニーズに合った子供も大人も楽しめる環境整備の予算を



「いこいの里」芸能館和室

**Q**

# 人にやさしいまちづくりを

**A**

人にやさしい、安全で安心して  
生活ができるまちづくりを目指す



**A** 住民か  
らの主な意  
見及び要望  
は、公共交

**Q** 合併し  
て後の5年  
間の総括を  
どう活かす  
のか。

**Q**

まず第1に、本庁をどこに置くのか。つぎに東九州自動車道行橋インター、豊津インターの開通で、アクセスを生かした企業誘致の推進。また住民の皆様が、まちづくりにかかる協働のまちづくり。

**Q**

まず第1に、本庁をどこに置くのか。つぎに東九州自動車道行

**Q**

まず第1に、本庁をどこに置くのか。つぎに東九州自動車道行

**みやこ町総合計画の  
目指すものは**

北九大と連携をして、協働のまちづくり推進事業に取り組んでおり、住民主体の勉強会を開催している。これを継続的に、より多くの住民が参加できるよう

必要となる事業を精査して進めます。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。

前期基本計画の進捗状況と今後も、重要度が高くなつております。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。また豊かな自然環境保全についても、重要な度が高くなつております。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。

商業、中小企業の振興、福祉の充実、幹線道路の整備などです。また豊かな自然環境保全についても、重要な度が高くなつております。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。

商業、中小企業の振興、福祉の充実、幹線道路の整備などです。また豊かな自然環境保全についても、重要な度が高くなつております。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。

商業、中小企業の振興、福祉の充実、幹線道路の整備などです。また豊かな自然環境保全についても、重要な度が高くなつております。今回のアンケートは、前回のものと大きな変化は見られない。

みやこ町まちづくりフォーラム

主催 みやこ町

**みやこ町の未来図を描こう**

「子どもたちに残す町の将来は、住民、企業、行政の協働のまちづくりで、よりよく生き残ります。」

行政、住民の皆さん、企業の方々と一緒にまちづくりを進め、安心して暮らせる「みやこ町」を残すことが重要です。それが役員持ち、その責任を果たしていくためにどううう仕組みが必要なのでしょうか。

住民、企業、まちづくり団体、行政は、どうすれば良いのでしょうか？

そんなまちづくりの問題、課題の解決に向けて、「協働のまちづくり」をどのように進め、どのように取り組むべきでしょうか？

そこで、11月6日㈯、平成23年11月6日㈯、午前10時30分～11時30分、みやこ町中央公民館（犀川支所横）にて開催される講演会に、東京大学教授の出口敦先生をお招きし、住民、企業、まちづくり団体、行政の皆様が、北九州大と連携をして、協働のまちづくり推進事業に取り組んでおり、住民主体の勉強会を開催している。これを継続的に、より多くの住民が参加できるよう

日時 平成23年11月6日(日曜日)  
午前10時30分～11時30分

場所 みやこ町中央公民館(犀川支所横)

主催・問い合わせ みやこ町 総合政策課 担当:宮坂 元松  
TEL:0930-32-2511 FAX:0930-32-4563

●今回の講演会を第一弾として、北九州都市政策研究所にお手伝い頂き、まちづくりの勉強会を開催します！ご参加ください！

申込用紙(FAX用)  
住所 郡区 町名 選択肢(選択肢は複数可)

\*お電話で直接申し込みも構いません。

平成23年11月6日に実施された「みやこ町まちづくりフォーラム」

**A** 現在、豊津地区において学童クラブがない理由に、寺子屋事業を。

**Q** 働く世代の支援策として学童クラブの充実が求められている。町のきめ細やかな対応を求められる。豊津地区に学童クラブの設置を。

**A** 現在、豊津地区において学童クラブがない理由に、寺子屋事業を。

**Q** 働く世代の支援策として学童クラブの充実が求められている。町のきめ細やかな対応を求められる。豊津地区に学童クラブの設置を。

**Q** 働く世代の支援策として学童クラブの充実が求められている。町のきめ細やかな対応を求められる。豊津地区に学童クラブの設置を。

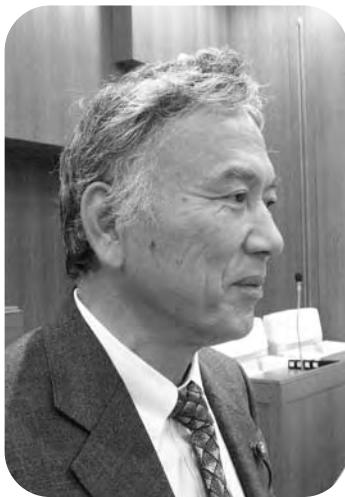
**Q** 働く世代の支援策として学童クラブの充実が求められている。町のきめ細やかな対応を求められる。豊津地区に学童クラブの設置を。

**Q** 貨金の改善と雇用の安定を。

東九州自動車道「行橋インターチェンジ」進捗状況



東九州自動車道「行橋インターチェンジ」進捗状況



中山 茂員  
議員

**Q** 23年6月議会で質問した時に検討しますという回答でしたが、検討結果をお尋ねする。

建設により、農業振興、農家所得向上、伊良原地区などの寒冷地野菜の普及。また、みやこ町には多くの芸術家がいるので、作品展示場としたり、料理教室を開催したり有効活用の方法はいくらでもある。町長の日本一元気な町づくり構想に組み入れ、来年は予算化して欲しい。

**A** 農林産物の消費拡大、農家所得の向上の為にも、直売所における全量買取が有効な手段と考え、その条件整備の為の農家レストラン建設について検討を行なつてきた。また、雇用の場の提供といった面からも有効な施策と思われるが、事業効果、採算面から相当な対策が必要と考えている。

土地の買収価格、施設建設後の運営を行う団体等の検討や様々な問

## A Q 農家レストラン建設の検討結果は引き続き調査をしていきたい

題があるため、今後慎重に検討を進め前向きに考えたい。

建設に関する調査費は、建設実施を明確にしてから計上したい。引き続き調査を行うが、経費に関しては既存の予算で対応したい。

### 犀川B & G施設を改修できないか

**Q** 現在の野球場を改修し高校野球が行える球場にしてはどうか。みやこ町は少年サッカーが盛んで優秀な選手が多くいます。しかしサッカーフィールドは有りません。運動場を改修できないか。また、プールが2ヶ所ありますが一つにして競技ができるプールを作つてはどうか。

**B & G施設とコミュニティセンターを一体的に開発し、遊歩道を作ることを考えてはどうか。**

**A** 今後の整備については、行政改革推進委員会の答申及び総合計画策定等により、その必要性についての検討をしていくものと考えている。野球場、運動場、プールこれらの改修には、用地の確保に問題があるが、可能であれば前向きに検討をしたい。



犀川運動公園 航空写真



犀川運動公園 運動場



犀川運動公園内 犀川B & G プール

**Q**

# 保育所民営化までの経過を問う

**A**

## 黒田保育所については24年度に無償譲渡する



**彦勝員  
議**

**Q** 黒田保育所の民間委託までの経過は。

**A** 平成22年10月、保育所民営化委員会を立ち上げ、12月まで6回検討会議を開催。結果、平成23年1月民営化賛成の答申を受け、保護者へ民営化について、説明を開始した。

**Q** 黒田保育所の施設は、どのような形で移行されるのか。

**A** 平成23年9月、10月移管先法人の選定に関する審議を行い、11月に移管法人選定に関わる答申を受け24年度に無償譲渡する。

**Q** 民営化により、どのように変わらるのか。

**A** 早朝、延長保育の実施、朝7時から夜7時までの保育やゼロ歳児の保育を新たに予定している。

**Q** 民営化により削減される経費はどのように反映するのか。

**A** 予防接種助成事業の実施や若者住宅の促進につながる施策を検討している。インフルエンザ



勝山苑内にある児童クラブ

**Q** 民営化により削減される経費はどのように反映するのか。

**A** 平成22年度、児童数52人、世帯数42世帯、金額173万4千円。支給対象者は、みやこ町児童育成手当支給条例に基づいて、対



チャイルドシート

**Q** 黒田保育所民営化に伴い新たな計画、放課後児童クラブの施設は。

**A** 保育所定員数現在70名、定員を90名にして、収容できる施設を新築、児童クラブの必要性という形で保育所を新築するときに、定員40名規模の施設を併設する計画である。

**Q** 少子化対策として、出産祝い金制度の復活はできないのか、また、出生件数は。

**A** 旧犀川町で基金運用事業として実施されていた祝い金制度が平成17年6月基金の廃止に伴い終了。個人への現金給付ではなく、町における子育て支援施策の問題点を洗い出し、方向性を検討し、制度を活用し、事業実施を行つてていきたい。

出生件数は平成18年度から22年度までの5年間で627人の出生。

**Q** 子育て支援の拡充を

**A** みやこ町児童育成手当の支給対象者の数と交付額及び支給対象者は。

**Q** チャイルドシート購入助成金の金額と件数は。

**A** 平成22年度55名、61万8千円、平成23年度11月末現在38件、37万5千円。

経済的負担の軽減を目的に購入金額の二分の一を限度に、最高2万円を支給している。

**Q** 第4子から支給されている児童育成手当助成金や支給対象者や条件の緩和はできないのか。

**A** 町の子育て支援施策の問題点、今後の方向性を検討、制度を活用し事業実施を24年度より少しでもできないか、今、執行部内で検討を行つてはいる。改善と改良しながら可能性があれば議会で報告する。



**熊谷みえ子**  
議員

事務作業、今後の手続等、双方についての協議を、また地元での住民への説明会の計画をしているかどうか問う。  
保育の質の確保のための提案を

**黒田保育所の民営化について**

**Q** 保育所民営化での協定書を取り交わすなどの準備はあるか。

**A** 協定書は今後の検討課題とさせていただきたい。

**Q** 保育所の新設、運営に関する

事務作業、今後の手続等、双方についての協議を、また地元での住民への説明会の計画をしているかどうか問う。  
保育の質の確保のための提案を

**黒田保育所の民営化について**

**Q** 保育所民営化での協定書を取り交わすなどの準備はあるか。

**A** 協定書は今後の検討課題とさせていただきたい。

**Q** 保育所の新設、運営に関する

事務作業、今後の手續等、双方についての協議を、また地元での住民への説明会の計画をしているかどうか問う。  
保育の質の確保のための提案を

**子育て新システムとは**

**Q** 一番問題は最低基準の緩和が、市町村ごとに勝手にできるとされていることである。

自治体の仕事はあずけられる時間と日数の認定をすること、施設を斡旋することだけになる。

保育所入所などすべて「自己責任」となり、親・保護者は認定書を手に自分で施設を探さなければならない。「自由に選べる」どころか、もつとも保育を必要とする人からその機会がうばわれる可能性が高くなる。保育時間は1日をいくつかに分け、4時間、8時間、11時間などの子どもを一緒に保育することになり、登園、退園時間も大幅に違

**給食センターの建て替えに**

**Q** 給食センターを食育の拠点として活用していく事。

**A** 地元産農産物の確保のための生産組織などを確立し、安定供給できる体制をつくることにより、生産者の所得向上に努めていきたい。

**Q** 保育の質を確保すること

**A** いかに児童にストレスを与えることなく引き継ぎを終えるかだと考えている

かだと考えている。具体的には、本人の意向もですが、できるだけ現在の黒田保育所において、保育に携わる町の臨時、嘱託、代替保育士等の民間での継続的雇用による保育の実施や、新規民間保育所職員との引継ぎ保育の実施、移管先法人と保護者との協議などが重要なだと考

えている。

**A** 国は当初、幼稚園、保育園を全廃し、幼保一体化した施設を子ども園とする考え方であったが、学校教育法と児童福祉法の適用を受ける幼保一体化施設は、総合施設と名称を

変え、幼稚園やゼロ歳から2歳の保育所なども含め、全体をこども園とすることで決着した。どの施設をどの程度整備するかは、地域の教育、保育に関するニーズ調査をした上で、実施する必要があると考えている。

**A** 無条件で容認しているわけではなく、基地周辺住民の安全、安全飛行の徹底、機体の整備、点検の強化などを条件としている。

**Q** F15戦闘機のたび重なる事故が続いている。燃料タンクの落下事故が、ナットの点検は自衛隊の整備



黒田保育所



給食センター建設予定地（高崎区）

保育や集団保育、行事の運営も困人の意向もですが、できるだけ現在

難になると聞くがどうなるのか。

項目になかったなど問題点がある。

訓練再開は認められない。

**Q**

# 町の大災害に対する対応はいかに

**A**

## 協議しながら具体化したい

い。



河川の整備を

産業祭は一日にして出来た訳  
ない、何もない。

特にみやこ町は80パーセントが山であり谷である。数々の川があり、災害に対する対応訓練はいかがか。上毛町は平成23年7月に国土交通省九州地方整備局と「大規模災害時の応援に関する協定」を結んだとある。緊急な対応が期待される。東日本大震災では県の機能がマヒするケースがあったことから県内市町村では初めて九州地方整備局と締結したとあります。みやこ町も災害訓練をして頂きました。

**Q** いま地球自体がおかしくなり、エルニーニョ等温暖化に見舞われ想定外の大きな災害が起こっている。我が国も、東日本大震災のような大きな災害が、またいつ起こるか、否定できないのが現状である。

特にみやこ町は80パーセントが山であり谷である。数々の川があり、災害に対する対応訓練はいかがか。上毛町は平成23年7月に国土交通省九州地方整備局と「大規模災害時の応援に関する協定」を結んだとある。緊急な対応が期待される。東日本大震災では県の機能がマヒするケースがあったことから県内市町村では初めて九州地方整備局と締結したとあります。みやこ町も災害訓練をして頂きました。



**廣尾昌員**

### 河川の整備を

**Q** 山間部で生活し、棚田を耕し、山で、なり果物を作り、田の水口・川の井堰の掃除等、先祖代々保水保全を守り続けた人達が高齢となり、後継者もおらず河川上流の草刈りができないなど、やめゆく地域が出ている。町づくりの原点は川作りから、対策をお願いする。

**A** 特に訓練など、どの様にしたらしいのか担当課と協議しながらやつていただきたい。



第6回産業祭「よってこ犀祭inみやこ」

### 産業文化祭について

**Q** みやこ町超目玉イベントであります産業文化祭「よってこ犀祭inみやこ」と名を改め多くの

**A** 県整備事務に河川の草刈り及び浚渫等を陳情し対応する。今後町としてさらに精進していく。  
ではない。昭和57年に開かれ今年で30年、それぞれ人達が参加しその結果今があるんだと認識をして頂きたい。農産物入賞者の顔が誇らしげに輝いて見えました。これこそが農業者に対する行政の一番の支援だと思っている。

人達が訪れる最大行事である。農家の方々が一所懸命作った農産物を出店し品評会を行う。また地域自慢で、食の祭典に早変わり、近隣の市町村より多くの人達が訪れる大イベントである。この祭りを縮小することのないようお願いをする。

今年は特に多くの方からご意見を頂きました。

開催時のアドバルーン、花火など上がらない。子供の大きな風船のフワフワ等もない。子供に対する思いやりはゼロ。若い父母さんから多くの苦情を頂きました。特に農産物を出店したその日は3時に体育館にて即売、日曜日に来人達は産業祭なのに農産物がない、何もない。

産業祭は一日にして出来た訳



柿野正員



プレミアム商品券



町内の店舗

**Q** プレミアム商品券の発行事業の効果をどう分析しているか。  
**A** 22年度実績では、23年1月4日時点で発売された商品券が2次、3次的に使用され実質発行総額プラス3割の経済効果が確認されており、地域内の消費拡大、イベントや販売促進により商店街全体での活性化に大きな効果等、継続した取組みにより徐々に定着されており地元消費の拡大及び商工業者の発展により地域活性化につながると考える。



帆柱しゃくなげの里直売所

**Q** 小規模な個人商店は、この社会構造の変化の中、必死に頑張っていますが、まちづくりにおいて、小規模な個人商店をどのように位置づけをするか伺う。

**A** 町内には個人商店で家族経営が多く商店街としての商業地が形成できなく周辺商業地域への消費流出も多く見られる。本町としては住民が生活しやすい環境づくり、高齢者や子供にとつて買物を得するでしょうか。何か矛盾を感じませんか。

**A** それはそれとして、私もできることはやらなきやいけないと思っている。しかしこの問題については、かなり経過がたっており本当に断腸の思いでこういう措置をした。

## A Q 地域商店の浮揚策は図る

**Q** 小規模な個人商店は、この社会構造の変化の中、必死に頑張っていますが、まちづくりにおいて、小規模な個人商店をどのように位置づけをするか伺う。

**A** 町内には個人商店で家族経営が多く商店街としての商業地が形成できなく周辺商業地域への消費流出も多く見られる。本町としては住民が生活しやすい環境づくり、高齢者や子供にとつて買物を得するでしょうか。何か矛盾を感じませんか。

**A** 今回帆柱地区の女性部の皆さんが旧農協支所を利用してサロン化して、店をオープンしてお

**Q** 町内に点在する小規模店舗をサロン化して集落を活性づけられないか。

**A** 町内には個人商店で家族経営が多く商店街としての商業地が形成できなく周辺商業地域への消費流出も多く見られる。本町としては住民が生活しやすい環境づくり、高齢者や子供にとつて買物を得するでしょうか。何か矛盾を感じませんか。

**Q** プレミアム商品券の発行事業の効果をどう分析しているか。  
**A** 22年度実績では、23年1月4日時点で発売された商品券が2次、3次的に使用され実質発行総額プラス3割の経済効果が確認されており、地域内の消費拡大、イベ

ントや販売促進により商店街全体での活性化に大きな効果等、継続した取組みにより徐々に定着されており地元消費の拡大及び商工業者の発展により地域活性化につながると考える。

**Q** 保育料1、123万9、480円(53年度から平成17年度分)を時効により不納欠損するが、徴収努力はしたのか。  
**A** 旧町からの持ち越した保育料であり、徴収努力していたと思いませんが、詳しくは承知していない。

**Q** では、平成18年度分保育料の現状はどうなっているか。  
**A** 滞納保育料額は233万6、700円で、その内12月現在126万3、700円が時効成立している。

**Q** このように徴収努力もなく時効により町債権をなくしている中、みやこ町広報12月号を見ると、町長御意見箱に2人の方から要望があつたが、財政難を理由にお断りしている。このような状況を知っていたらこの2人の方は納得するでしょうか。何か矛盾を感じませんか。

**A** それはそれとして、私もできることはやらなきやいけないと思っている。しかしこの問題については、かなり経過がたっており本当に断腸の思いでこういう措置をした。

**Q**

# 今後の教育問題について、対応策は

**A**

## 速やかな報告など学校への指導、連携を図ってゆきたい



**助  
橋  
本  
議  
員**

**Q** 学校と教育委員会の連絡体制は

学校から教育委員会へのトラブル

**A** (教育長) 生徒指導を行ってい  
るとの判断している。

**Q** 学校としてはこのような事件  
が起きる前に指導や対応を行つて  
いたのか。

**A** (教育長) 今回の職員の飲酒運  
転については、校長が退職、講師が  
処分と、教頭が職員をまとめて全職  
員一丸となって取り組んでいる。

**Q** 学校として不登校生徒、生徒  
同士の暴力、対教師暴力があつた。  
現在の実態は、不登校生徒、生徒  
がお聞きしたい。

**A** (教育長) 12月の中学校PTA理事評議  
委員会では、飲酒運転の事件の話  
の中で「今回辞めた校長に関して  
は、私が教育長になる前の教育長が  
校長に任命した。私が校長にした  
訳ではありません」と言った。この  
ような発言を教育長がするので、  
教師と教育委員会との連絡体制が  
とれていないのでないか。

**A** (教育長) 私は校長会で報告は

したがそのような発言はしていな  
い。私が教育長になる前には、該當  
の者が知らなかつたので、前教育  
長が任命したと報告をした。

**Q** 誰が聞いても責任逃れのよう  
にしか聞こえないが、今後は教育委  
員会として学校がどういう状況か  
把握し教職員の話を聞き今後の連  
絡体制を充実していただきたい。

**Q** 教師の人事について

**A** (教育長) 全ての意見を聞いて  
人事を行うのか。

**Q** 保護者の方や生徒の意見での  
人事を行うのか。

**Q** どのような人事を行つていて  
るか。

**A** (教育長) 全ての意見を聞いて  
人事する訳ではない。

**A** (教育長) 学校でのトラブルが  
発生した場合、速やかに教育委員  
会へ報告するよう指導している。

**A** (教育長) 教職員によると人事の際に校  
長の話を教育長が聞いてくれない  
のではという指摘があつたと聞いて  
いる。また、教育長は今後は職員の  
話も聞き、きちんとした人事を行つ  
ていくこととしたが保護者か  
ら「あの先生が良かったから絶対に  
中学校にかえして下さい」と言わ  
れ、「解りました。私がかえつてくる  
ように」と約束をしていたが、こう  
いった人事はおかしいのではないか。

**A** (教育長) 私は辞職願いを出し  
て京築教育事務所の人事方針及び  
取扱要領に基づいて人事を行つてい  
る。

**Q** 教職員によると人事の際に校  
長の話を教育長が聞いてくれない  
のではという指摘があつたと聞いて  
いる。また、教育長は今後は職員の  
話も聞き、きちんとした人事を行つ  
ていくこととしたが保護者か  
ら「あの先生が良かったから絶対に  
中学校にかえして下さい」と言わ  
れ、「解りました。私がかえつてくる  
ように」と約束をしていたが、こう  
いった人事はおかしいのではないか。

**Q** 今後、新しい教育長がこういう  
ふうに行つていいかといふても、  
保護者から見れば同じ教育委員会  
なので不安は消えない。事件が起き  
たから辞めますではなく、どのよう  
な対応をしていくという所まで、  
しっかりとしていくほしい。今後みや  
こ町の学校に皆が来たいと思う教  
育委員会を作つて頂きたいと思う。



教育委員会



金 房 眞 哲  
議 員



町内未舗装の道路

## Q 経常経費削減にどう努めたか

住民の生活道路の整備をすること

保育所の民営化、拙速では

A 今日的 情勢の中、将来を見据えたまちづくりのため、検討委員会で議論を尽くし周知をしてきた。保護者向け説明会、また行政懇談会等で周知、保護者の理解を得られ、協議の整った保育所より民営化を進める。

- Q 国、各地方自治体とも大変厳しい財政状況である。消費は美德の時代は過ぎた。
- Q 合併後、公共、農業土木等事業費(量)が少ない。また費用対効果が見えない箇所もある。生活道路は未舗装も多い。まず住民の日々の生活道路の整備を、国道、県道の改良、整備計画はどうか。
- A 「みやこ町私道舗装等工事費補助金交付要綱」に基づき、平成22年度より実施している。
- Q 「中2の生徒がいじめを苦に自殺では」と胸に突き刺さる痛ましい報道がなされた。憤りを止められなかつた。人権、命の重さは誰も計れない。
- A (教育長)不登校児童については学校でプロジェクトチームを結成、家庭訪問、スクールカウンセラー等対応、校内暴力防止については職員全員で対応する体制づくりを指導している。

A

Q

- 職員と議員の定数削減。  
委託料、消耗品、光熱費節減等

Q 合併後、公共、農業土木等事業費(量)が少ない。また費用対効果が見えない箇所もある。生活道路は未舗装も多い。まず住民の日々の生活道路の整備を、国道、県道の改良、整備計画はどうか。

Q 町長就任後、保育所の民営化が急速に進んでいるが6園の公立保育所は、長年町民の「物」「心」の両面の努力で築かれた財産「宝」である。民間移行すべきでない。国がすすめる幼児教育「保育」に反対し、公的保育制度を発展させるべきではないか。もし民営化されば職員の待遇は。

- Q 「中2の生徒がいじめを苦に自殺では」と胸に突き刺さる痛ましい報道がなされた。憤りを止められなかつた。人権、命の重さは誰も計れない。
- A (教育長)不登校児童については学校でプロジェクトチームを結成、家庭訪問、スクールカウンセラー等対応、校内暴力防止については職員全員で対応する体制づくりを指導している。

A

Q

- 職員と議員の定数削減。  
委託料、消耗品、光熱費節減等

## 総務常任委員会

# 委員会活動報告

長崎県の佐々町と佐賀県の白石町で視察研修

(11月24日～25日)

わが町でも町民の力をまちづくりに発揮してもらいたいとの想いから、ボランティア活動に独自の補助金制度を取り組んでいる佐々町をたずねました。

佐々町では町の施策として制度化されている補助金とは別に、町民からの提案による補助金制度「提案公募型活動事業」を設けています。自然保護・福祉・防災・地域活性化などを独自で企画・立案して活動している団体に活動経費を3年間交付するものです。年300万円の予算で、財源に「協働のまちづくり基金」をあてています。

つぎに、わが町の合併後に分散している町機能をどうすべきかを考えていく上で参考にしたいため白石町で研修しました。白石町は平成17年に3町が合併、人口26,000人、100km<sup>2</sup>の町です。22年3月に新庁舎を建設しています。合併協議で決まっていたことで、建設費20億円の主な財源は庁舎建設基金12億円、合併特例債5,2億円ということでした。庁舎移動に伴い、自宅

から病院などへの予約制のありのりに発揮してもらいたいとの想いから、ボランティア活動に独自の補助金制度を取り組んでいる佐々町をたずねました。

佐々町では町の施策として制度化されている補助金とは別に、町民からの提案による補助金制度「提案公募型活動事業」を設けています。自然保護・福祉・防災・地域活性化などを独自で企画・立案して活動している団体に活動経費を3年間交付するものです。年300万円の予算で、財源に「協働のまちづくり基金」をあてています。

## 文教厚生常任委員会

熊本県の宇城市と菊陽町で視察研修

(11月17日～18日)

「豊野小中一貫校の建設の経緯」

一日目は宇城市教育委員会で

は、21世紀を担う児童・生徒のための教育の在り方を見直し、時代

の要請に応えられるものにする為に、新しい時代の教育理念に立つ

て、義務教育9年間を見通して一

人一人の個性や能力を最大限に引き伸ばすことができる、きめ細やかな教育を「小中一貫校」として具

体化することとした。

建設費は施設一体型とし概算工事費約11億円で平成25年4月の開校を目指しているそうです。

また、宇城市では平成18年度から2学期制を導入し授業時間数の増加を図り、子どもと教師のふれあい、子ども同士の触れ合いの機会の増加を図るなど、新しい時代に対応した学校教育を進めてい

る。

みやこ町としても学校の老朽化問題・児童生徒の健全育成問題等学習環境についてどのように対応していくか真剣に考える時期に来ていると思いました。

二日目は菊陽町の太陽光発電システムについてご教授いただきました。太陽光普及率一位を目指していましたが、残念な事に佐賀



宇城市で研修の様子

文教厚生常任委員会  
委員長 田中 勝馬

総務常任委員会  
委員長 柿野 義直

県に越され2位だったそうです。  
町長さんは今後も先進県として日本一を目指していきたいと話されていました。

みやこ町に於いても地球環境にやさしい新エネルギーの導入を進めて頂くため、太陽光発電システムを設置する方に対し、その費用の一部を補助金の交付をお願いしていきたいと思います。

# 広報特別委員会



益城町で研修の様子



福岡県町村議会広報研修会の様子

**熊本県の益城町との研修交流及び福岡県町村議会広報研修会参加**  
**(11月21日～22日)**

読みやすく、読んで頂ける紙面作りを考え、今年度も研修会に参加しました。住民の関心、意識の高まりに応えるべき「議会だよ」

り」「作成のポイントなどを議会議長会広報研修会で研修し、色々と勉強になることが多くあります。またに責任をもつて編集、校正まで行うなど、参考になる事が多かったです。このことに親しまれる広報誌を作っていました。

広報特別委員会  
副委員長 小田 勝彦

## 本会議の様子を各支所のテレビでライブ中継します



本庁ロビーにて

町議会では、住民の皆様に議会と町政への関心を深めてもらいながらその協力を願うため、12月議会より議場内にテレビカメラを設置しました。このことにより、本会議の模様が本庁及び犀川・豊津各支所ロビーのテレビで放映されるようになりました。議場での審議の状況が生中継されますので、一般質問をはじめ、議員や執行部の発言内容、議案の採決などが、議場まで足を運ばなくとも気軽に傍聴できるようになります。

（当日は、各支所ロビーにも会期及び議事日程表等を用意しております）

りました。

今まで、ご不便をかけていましたが是非、興味のある方は本会議の日程等をご確認のうえお近くの役場ロビーまでお越し下さい。※なお、テレビ中継は議場で開催される本会議のみですので、ご了承願います。

また、議会の会期日程等は、ホームページ・防災無線で開会前にお知らせいたします。

# がんばっちょる

## 帆柱 しゃくなげの里 直売所

昨年、3月で帆柱地区にあった唯一の農協の売店が閉鎖されました。

皆様もご承知の通り、超高齢化集落です、買い物する所が無くなることは、買物難民となります。

農協があつた時は、買い物に行つた時など、出会った人には必ず「元気でしたか」と声を掛け合い、励まし合い、助け合いながら何とか田舎暮らしをしていました。

閉鎖されると言う話を聞き、これからどうして生活していくばいいかと、会う人、会う人ごとに、悔やみごとばかりしていましたが、悔やむばかりでは解決できるものではないと言いだし、自分達の村は自分たちでどげんかせにやいかんばいと話し合い、皆さんが協力して出資し、ようやく

8月に農協の跡を利用してさえて頂き開店することができました。

高瀬綱子さん他12名の女性ボランティアで運営に当たっています。

毎週金・土曜日の開店日は必ず高齢者が集まりストーブを囲み、お話しも弾み、皆さんのがサロンの場として日夜がんばっちょるよ。

売店では、日用雑貨・高冷地野菜・特産品等安く美味しいと好評を頂いております。皆さんもぜひ帆柱に一度きりお待ちしております。



帆柱しゃくなげの里直売所



活気溢れる店内の様子

連絡先	
荒巻 時雄	電話番号 0930-43-5101

発行責任者	委員長	委員員長	委員員長
" "	" "	" "	" "
上田 中柿 橋小熊			
田 中山野 本田 谷			
重勝茂正 真勝みえ			
光馬樹 喜助彦子			

## 議会広報 特別委員会

発行日：平成24年2月1日  
発行：みやこ町議会

〒824-0892  
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地  
TEL0930-32-2511（内線301・302）  
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会  
印刷：(株)日報

## 議会傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

3月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

そういう世相の中でも明るいニュースといえば、なでしこジャパンの女子サッカーワールドカップ優勝、福岡ソフトバンクホークスの日本シリーズ優勝でした。今年は東北地方が一刻も早く復興することを切に願い、日本経済のみならず世界経済に明るい兆しが出てくる事を期待します。（中山）

島原子力発電所の放射能漏れ、世界に目をやるとヨーロッパではユーロ圏の経済不安定により世の中はお先真っ暗でした。1年間を振り返りますと日本国内では昨年3月11日に発生した東北地方を襲った未曾有の東日本大震災、東京電力福島原子力発電所の放射能漏れ、世界に目をやるとヨーロッパではユーロ圏の経済不安定により世の中はお先真っ暗でした。

選挙があつたばかりのようですが、もう2月です。1年間を振り返りますと日本国内では昨年3月11日に発生した東北地方を襲った未曾有の東日本大震災、東京電力福島原子力発電所の放射能漏れ、世界に目をやるとヨーロッパではユーロ圏の経済不安定により世の中はお先真っ暗でした。

## 編集後記